

第4分科会

「目的」

自らの審査経験によるダイアローグを展開し、「気づき」を得ることで、明日の審査につなげる。

「狙い」

- 効果的な審査を実施するためのポイントを、他の審査員の経験を通して取得する。
- 審査の現場で困ったこと、その対処方法を習得する。

<グループ討議の議題>

- ① EA21を継続し、レベルアップするために、環境管理責任者をいかに育成支援するか！
- ② 活動のマンネリ化を防ぎ、環境経営につなげるためには審査人は何を提案すべきか！

活動のマンネリ化を
防ぎ、環境経営につなげるためには
審査人は、何を提案すべきか！

環境活動レポート



経営者

- ・良い活動をした人
- ・活動の金額

審査人に対する要求

コミュニケーション

- ・ほめる
- ・表彰
- ・効果のフィードバック
- ・教育

- ・良い活動
- ・おおきな成果

審査人

・個人面談



・有益な意見

従業員

自社の強み・利益を生む仕組み

第4分科会（G1） ②

検討テーマ

EA21の活動のマンネリ化を防ぎ、
環境経営につなげるためには、
何を審査人は提案すべきか！

審査人の姿勢として・・・

「審査人も事業者の一員になろう!!」

第4分科会（G1） ②

提案視点1

楽しく活動できることが、マンネリ化の防止

環境管理責任者は、1年交代で実施したり、当番制にしてみよう。
EA21活動を、社長・事務局がやっているという「**他人事**」にさせない。

社員が良いことをやったら、必ず、評価しよう!!
モチベーションは、マンネリ化防止の第一歩

環境活動レポートをみんなでつくろう!!
例えば、自分の活動内容を写真に撮ってもらって投稿してもらおう。
環境活動レポートに載せて、「**私も活動している**」意識が必要!!

第4分科会(G1) ②

提案視点2

環境に良いことを見つけてあげる

「環境のために仕事はするな」ということを、審査人から言ってみよう!!
その心は、「**通常の業務で環境に良いことをしている**」ことを気付かせる。

EA21のメリットは、事業者から作ろう!!

例えば、地域の環境フェアなどに出展して、自社のPRと、出展企業と自治体のコネクションを作ろう!!

第4分科会 (G1) ②

提案視点3

社長に気に入ってもらおう=会社にメリット有

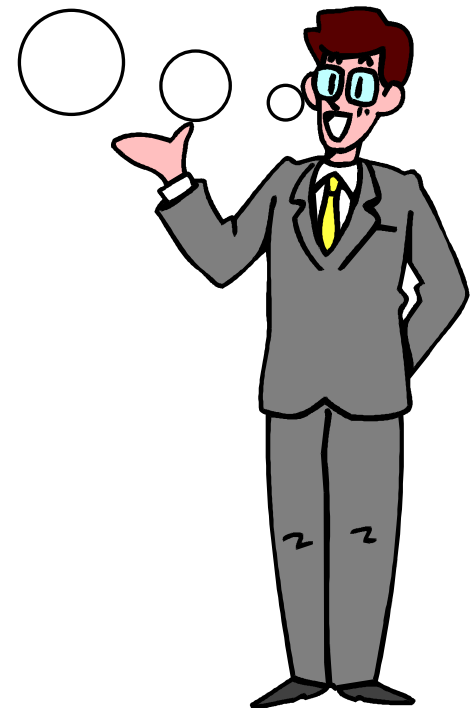
CO2削減は、設備変更の削減ではなく、1人が1つずつ提案と工夫する。
経営的に、「残業時間の削減」、「不良率の削減」、「3S」に貢献

EA21活動を単純化する。

例えば、PDCAを1年ごとに強化ポイントを定める。

例えば、目標の活動ポイントは、「集中と選択」!!

ご静聴、
ありがとうございました！！



第4分科会